dCS

Scarlatti

Remote Control

取扱説明書

Software Release 1.0x

株式会社 太陽インターナショナル
〒 103-0027
東京都中央区日本橋 2-12-9 日本橋グレイス 1F
Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

プロント・リモートコントロールについて 2

各部の名称 3

使用する前に 4

ドックステーション 4

バッテリーパックの装着 4

充電 5

プロント・リモートコントロールの使用方法 6

コントラストの設定 6

基本操作 6

Home Page 7

Devices Page 7

スカルラッティ・DAC の操作 8

DAC Pages 8

DAC Page 1 – Input 8

DAC Page 2 – Options 8

DAC Page 3 – Control 8

スカルラッティ・トランスポートの操作 9

Transport Pages 9

Transport Page 1 – Controls 9

Transport Page 2 – Keypad 9

Transport Page 3 – Play Mode 9

Transport Pages – Layers 10

Transport Page 5 – Control 10

スカルラッティ・クロックの操作 11

Clock Pages 11

Clock Page 1 – Clocks 11

Clock Page 2 – Control 11

問い合わせ先 12

プロント・リモートコントロールについて

dCS スカルラッティ・トランスポートにはフィリップスのプロント・リモートコントロールが付属しています。これはスカルラッティシステム全体をコントロールするように dCS でプログラムされたものです。このマニュアルはスカルラッティのためのプログラムのご案内です。

注意：当社はユーザーによってカスタム化されたプログラムによるトラブルなどついては一切の責任を放棄いたします。またカスタム化については一切のサポートを行いませんので、ご了承ください。

各部の名称

Learning eye
LCD touch screen
Channel up
Channel down
Mute
Volume up
Volume down
Firm keys
Toggle button
Free programmable
OK
Home
Cursor

Backlight
Page up
Page down

Reset button
Battery
compartment
Connection to docking station
USB port

使用する前に

ドックステーション

ドックステーションはバッテリーパックを充電します。

バッテリーパックの装着

❶ バッテリーカバーのラッチ（1）を親指で押し、カバーを前に押します。
❷ バッテリーカバーを持ち上げます

❸ バッテリーを内部に→図のように入れます。

❹ バッテリーパックのケーブルをコネクターに差し込みます。

❺ バッテリーカバーをスライドさせて閉めます。
バッテリーパックのワイヤーがスライドカバーに引っかからないようにカバーをスライドします。数秒後にプロントリモートは自動的に作動し、最初の案内がスクリーン上に現れます。二度ブザーが鳴ればプロントは準備完了です。

バッテリーパックはフル充電されておりませんので、次の方法で充電する必要があります。

充電

充電のためドックステーションにプロント・リモートコントロールを載せます。バッテリーパックの容量が減ってくるとプロント・リモートコントロールのスクリーンはバッテリーアイコンを表示します。プロント・リモートコントロールはいつでも充電できます。チャージ前にバッテリーパックが完全に空になっている必要はありません。

充電中でもプロント・リモートコントロールは使用可能です。

バッテリーパックが空になったとしても、プロント・リモートコントロールの設定はそのまま保持されます。ただし時刻を設定し直すことは必要です。バッテリーの容量が空になったら完全な動作のために、できるだけ早く充電してください。

❶ 電源アダプターをドックステーションと電源に接続する。
❷ カチッと音がするまでプロント・リモートコントロールをドックステーションにスライドさせます。

充電はすぐにスタートします。ドックステーションの前面にある青色 LED が点灯し、充電中である状態を示します。完全に充電が済めば、この青色 LED は消えます。通常の充電時間はバッテリーパックの状態にもよりますが、約２～３時間です。

充電 LED が点滅しているときはエラーの発生です。以下のことをご確認ください。
・バッテリーパックがプロントに正しく装着されていること
・ドックステーションにプロント・リモートコントロールが正しく置かれていること
・ドックステーションのコネクターが埃などによって妨害されてなく、クリーンな状態であること
・バッテリーパックが熱くなっていないこと

❸ プロントが完全に充電されたら、ドックステーションから取り出します。取り出し方は、30 ～ 45°の角度で持ち上げると簡単に取り出せます。

プロント・リモートコントロールの使用方法

プロント・リモートコントロールは３種類の方法で使用状態に入ります。

・**LCD touch screen**（タッチスクリーン）を軽く触れるとスクリーンが点灯します。
注意：指、消しゴムのようなソフトなものでのみ触れること。

・スクリーン下の **Firm key** ボタン４つのどれかを押すとスクリーンが点灯します。

・**Backlight**（バックライト）ボタンを押すとスクリーンが点灯します。

コントラストの設定

プロント・リモートコントロール本体左側にあるスイッチでコントラストレベルとバックライトを調整できます。

- コントラストレベルを下げるときは **Backlight**（バックライト）ボタンを押し続け同時に**−**ボタンを押す。
- コントラストレベルを高めるときは **Backlight**（バックライト）ボタンを押し続け同時に**＋**ボタンを押す。

Backlight（バックライト）ボタンを押すとバックライトオンになります。

基本操作

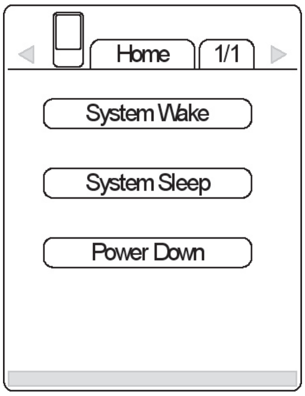
OK ボタンを押すことによってプロント・リモートコントロールを起動します。起動後にスクリーンが点灯します。
プロント・リモートコントロールはボタンを押して 15 秒経つと自動的にセーブモードになります。
スクリーン下部の大きい長方形の **Cursor**（カーソル）はページからページへの案内に使用します。

・コントロールする機器を以下の順に選別するときに **Cursor**（カーソル）の右を押します。
DAC → Transport → Clock
・コントロールする機器を上記と逆順に選別するときに **Cursor**（カーソル）の左を押します。
・**Cursor**（カーソル）上部を押すとページアップです。
・**Cursor**（カーソル）下部を押すとページダウンです。

スクリーンに表示されるボタンをタッチするとコマンドができます。

Home Page

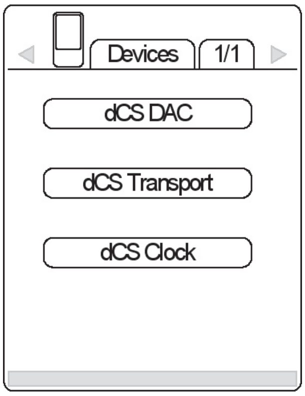
Home（ホーム）ボタン（リモコン右下にある家のマーク）を押すとプロント・リモートコントロールはこのホームページを表示します。



・ご使用の dCS システムがスリープモードの場合、**System Wake** ボタンを押して通常の稼働状態にします。
・リスニングを終えたとき **System Sleep** ボタンを押し dCS システムをスリープモードにします。システムは温まったスタンドバイ状態です。
・完全にシステムをオフにするには **Power Down** ボタンを押します。一度パワーダウンを押せば dCS 機器は停止状態となり、立ち上げるには各製品の **Power** ボタンを押します。

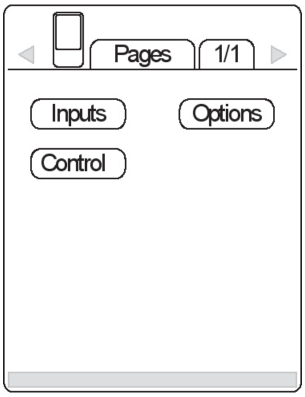
Devices Page

このページにするには **LCD touch screen**（タッチスクリーン）上の **Home** タブを押します。



コントロールするユニットを選択します。

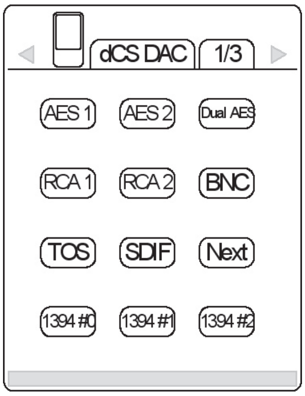
スカルラッティ・DAC の操作



DAC Pages

DAC ページから数字のタブを一回押すとこのページに直接行きます。

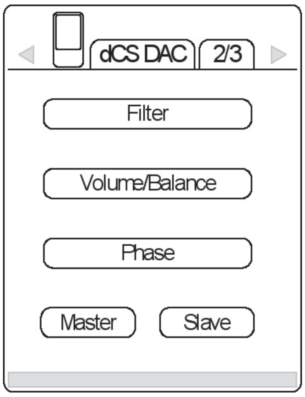
- **Inputs** – デジタル入力選択 (Page 1)
- **Options** – コントロール設定 (Page 2)
- **Control** – メニューアクセス、ディスプレイ オン / オフ、スリープ オン / オフ (Page 3)



DAC Page 1 – Input

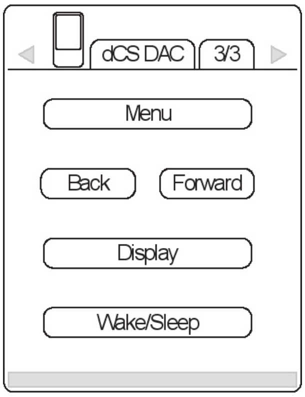
入力選択するには希望するボタンを押します。

- **Next** – 次の入力を順に選択します。
- **1394 #0**、1394 インターフェース上のソース 0 を選択します。同様に **1394 #1** は 1394 上のソース 1、**1394 #2** はソース 2 を選択します。ソースが更に結線されている場合は Next によって選択します。



DAC Page 2 – Options

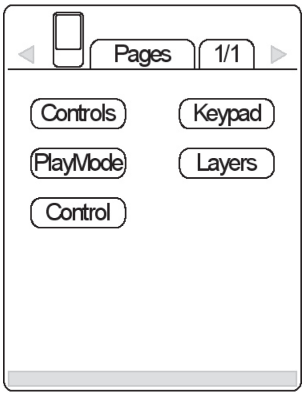
- **Filter** ボタンは DAC のフィルター設定を変更します。フィルターについては DAC マニュアルをご参照ください。
- **Volume/Balance** ボタンは音量とバランスの調整です。一度押すとバランス調整です。もう一度押すと通常のボリューム調整に戻ります。調整はディスプレイ右下にある VOL +/- ボタンによって操作します
- **Phase** ボタンは DAC のアナログ出力位相を反転させます。もう一度押すと前の状態に戻ります。
- **Master** ボタンは DAC をシステムのマスタークロック設定にします。DAC のマニュアルにありますように、ワードクロック出力がが正しく接続されていることを確認してください。**Slave** ボタンは DAC クロックを接続された入力に対してスレーブモードにします。DAC はこれらの設定を各入力に対し個別に記憶します。



DAC Page 3 – Control

- **Menu** ボタンはメニューを開きます。**Forward** ボタンはメニューリストをスクロール、**Back** ボタンは逆スクロール。設定を変更するにはもう一度 **Menu** ボタンを押します。
- **Display** ボタンはメニューディスプレイをオンまたはオフの状態にします。
- **Wake/Sleep** ボタンはリスニングを止める時に押します。DAC 出力をミュートにし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイをオフにします。更に **Wake/Sleep** を押すと、作動状態に戻ります。

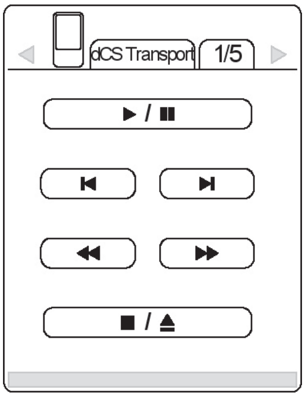
スカルラッティ・トランスポートの操作



Transport Pages

ボタンを押すことによって各ページに進みます。

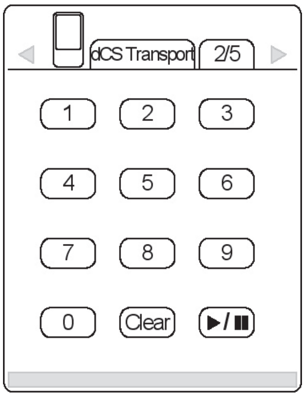
- **Controls** – メカニズムのコントロール (Page 1).
- **Keypad** – トラックの選択 (Page 2).
- **Play Mode** – トラック順を設定、又はトラックをリピート (Page 3).
- **Layers** – ハイブリッドディスクの層を選択 (Page 4).
- **Control** – メニューへのアクセス、ディスプレイのオン/オフ (Page 5).



Transport Page 1 – Controls

上から次の通りです。

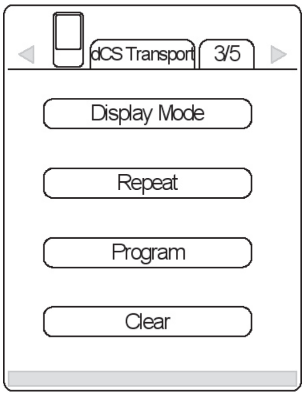
- **Play/Pause**（演奏／ポーズ）
- **Previous track**, **Next track**（前トラック、次トラック）
- **Fast reverse**, **Fast forward**（早戻し、早送り）一度押すと 2 倍速、もう一度押せば 4 倍速，もう一度押すと 8 倍速、更に押すと通常のプレイモードになります。**Fast reverse** または **Fast forward** の時に **Play/Pause** を押すとプレイモードに戻ります。
- **Stop/Eject**（停止、またはディスクの排出）



Transport Page 2 – Keypad

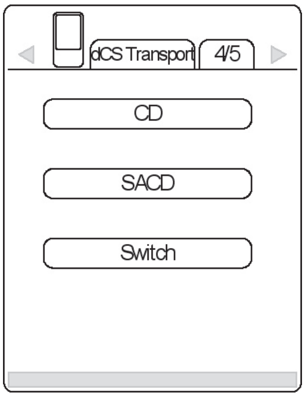
0 - **9** ボタンはトラックの選択またはトラックのプログラムに使用します。例えば **5** を押すとトラック 5 へ、**1** を押し次に **2** を押すとトラック 12 へ。**PGM**（プログラム）モードの場合、**Clear** ボタンによって最後に選択されたトラックを削除します。1 ～ 9 までのトラックは 0 を最初に押すことによってより早く進むことができます。(例：**0** と **5** を押せばトラック 5 へ).

一番下の列にある **Play/Pause** ボタンは通常に作動します。



Transport Page 3 – Play Mode

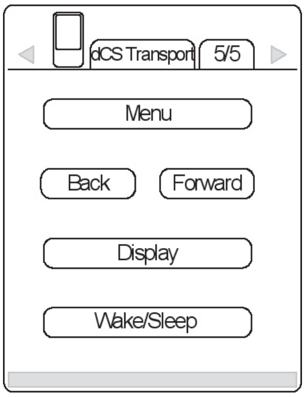
- **Display Mode**（ディスプレイモード）はディスプレイの情報を変更します。**Track Elapsed**（トラックの経過時間）、**Track Remain**（残存時間）、**Total Elapsed**（全経過時間）または **Total Remain**（全残存時間に変更）。
- **Repeat** ボタンによってお聴きのトラックをリピート（**Repeat TRK**）、更に押せばディスク全体をリピート (**Repeat DSC**)、もう一度押すと通常の演奏に戻ります (**Repeat Off**)。
- **Program** を一度押すとトラック順序をセットし (**PGM Mode**）リモートはキーボードページとなります。トラック順序を入力し (例：**01 03 05 07**) 、その後 **Play** ボタンにより演奏します。**Program** を再度押すことによってトラック順序をキャンセルし通常のプレイに入ります (**PGM Off**) 。
- プログラムモードにあるとき（**PGM**）、**Clear** ボタンによって最後に入力したトラックを取り消します。



Transport Pages – Layers

ハイブリッドディスクのレイヤー（層）を選択します。

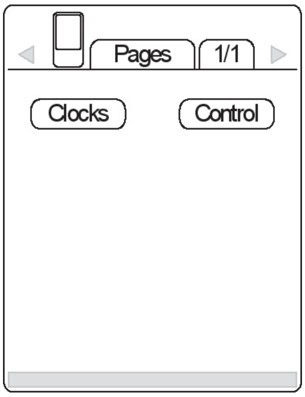
・**CD**：CD 層
・**SACD**：SACD 層
・**Switch**：現在選択された層を変更



Transport Page 5 – Control

・**Menu** ボタンによってメニューを開き、**Forward** ボタンによってリストをスクロールし **Back** ボタンによってスクロールバックします。**Menu** ボタンを押して設定を決定します。
・**Display** ボタンはメインディスプレイを消す、または点けます。
・**Wake/Sleep** ボタンはリスニングを止める時に押します。出力をミュートにし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイをオフにします。更に **Wake/Sleep** を押すと、作動状態に戻ります。

スカルラッティ・クロックの操作

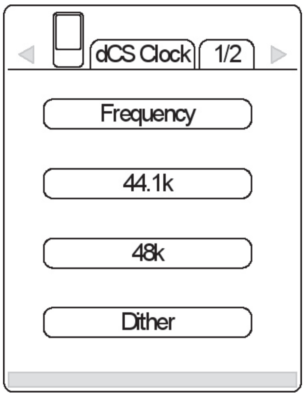


Clock Pages

クロックページによって直接アクセスします。

・**Clocks** – クロック設定 (Page 1)

・**Control** – メニューアクセス、ディスプレイのオン / オフ、スリープのオン / オフ (Page 2)



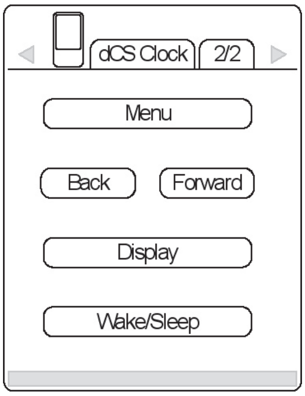
Clock Page 1 – Clocks

・**Frequency** によってクロックの周波数を変更します。

・**44.1k** ボタンは周波数を 44.1kHz. に設定します。

・**48k** ボタンは周波数を 48kHz. に設定します。

・**Dither** ボタンによってデザをオン / オフします。



Clock Page 2 – Control

・**Menu** ボタンによってメニューを開き、**Forward** ボタンによってリストをスクロールし **Back** ボタンによってスクロールバックします。**Menu** を押して設定を決定します。

・ **Display** ボタンはメインディスプレイを消す、または点けます。

・**Wake/Sleep** ボタンはリスニングを止める時に押します。出力をミュートにし、メニューが開いていればそれを閉じ、ディスプレイをオフにします。更に **Wake/Sleep** を押すと、作動状態に戻ります。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒 103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9 日本橋グレイス 1F

TEL： 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX： 03-6225-2778

メールアドレス： info@taiyo-international.com

support@taiyo-international.com

ホームページ： http://www.taiyo-international.com

10-01-2008